

静岡県川岸町・渋川地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>川岸町・渋川地区は、静岡市清水区の市街地西部に位置し、市街地を西から東に流れる二級河川巴川の流域内で、国道1号に近接し、商業・業務地区、住宅地などの人口の集積している地区である。</p> <p>川岸町・渋川地区は、浸水実績を過去に複数回有し、直近でも平成26年の台風18号において、床上浸水を含む浸水被害が発生しており、早急な再度災害防止を図るため、浸水対策を計画的に実施する必要性が高い地区である。</p> <p>本計画における雨水処理施設の整備の計画期間は、令和2年～令和7年度（6箇年）で、事業費は約29億円である。</p> <p>以上より、川岸町・渋川地区の浸水対策は、計画的・集中的に対策を推進する必要があるため、大規模雨水処理施設整備事業を適用する。</p>
整備目標	<p>①本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画における対象降雨：112mm/hr</li> <li>・目標とする理由：平成15年7月に静岡気象台で記録した既往最大降雨112mm/hr</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：67mm/hr（7年確率降雨）</li> </ul> <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設2箇所の床上浸水を防止する。（浸水深45cm未満）</li> <li>ii) 都市機能の確保の観点：交通の支障となる道路冠水を防止する。</li> <li>iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。（浸水深45cm未満）</li> <li>iv) その他：特になし</li> </ul> <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備により67mm/hrの降雨において浸水被害を防止することを目的とする。</li> </ul> </li> <li>ii) ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備で対象とする降雨量を上回る既往最大降雨112mm/hrの降雨において、内水ハザードマップの活用促進に向けた市政出前講座等の広報活動を充実させ、住民の自主的な防災活動を促し、地域防災力の向上を図る。</li> </ul> </li> </ul>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>有</b> (平成 24 年 3 月 31 日策定済み)</li> <li>・ 策定予定</li> </ul>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水管渠の整備 ○1,800 mm 1,013m 排除面積 61.8ha</li> <li>・ 雨水ポンプ場の整備 排水能力 276m<sup>3</sup>/分</li> </ul>
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政出前講座等の広報活動</li> </ul>
			下水道管理者以外	
	自助	ハード対策		
		ソフト対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

\* 下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

年度計画（百万円）

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
雨水管渠	510	1,105	60	136	0	0	1,811
雨水ポンプ場	62	85	246	239	421	26	1,079
計	572	1,190	306	375	421	26	2,890

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項目	内容・施策等
整備効果	<p>&lt;事業評価の内容&gt;</p> <p>被害額：652百万円が削減される。</p> <p>B/C：3.2</p> <p>経済的内部収益率：12.7%</p> <p>ソフト対策，自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップの活用促進に向けた市政出前講座等の広報活動を充実することで、住民の自主的な防災活動を促し、地域防災力を向上できる。</p>
放流先河川との調整状況	<p>当該対策地区の排水は、二級河川巴川に放流することから、放流先河川管理者と目標降雨放流量等の整合を図っている。</p>
その他	<p>当該地区は、特定都市河川浸水被害対策法の適用を受け、「巴川流域水害対策計画」に基づき、河川管理者と連携して浸水対策事業を進めている。</p>

# 静岡市川岸町・渋川地区 大規模雨水処理施設整備事業

- 平成26年10月台風18号(1時間最大雨量90mm)において、川岸町・渋川地区では、床上浸水等の甚大な被害が発生。
- このため、大規模雨水処理施設整備事業により、雨水ポンプ場の整備、雨水管渠の整備を行い、7年に1回程度降る非常に激しい雨(1時間降雨量67mm相当)に対して、浸水被害を解消。

## 位置図



静岡市清水区  
川岸町・渋川地区

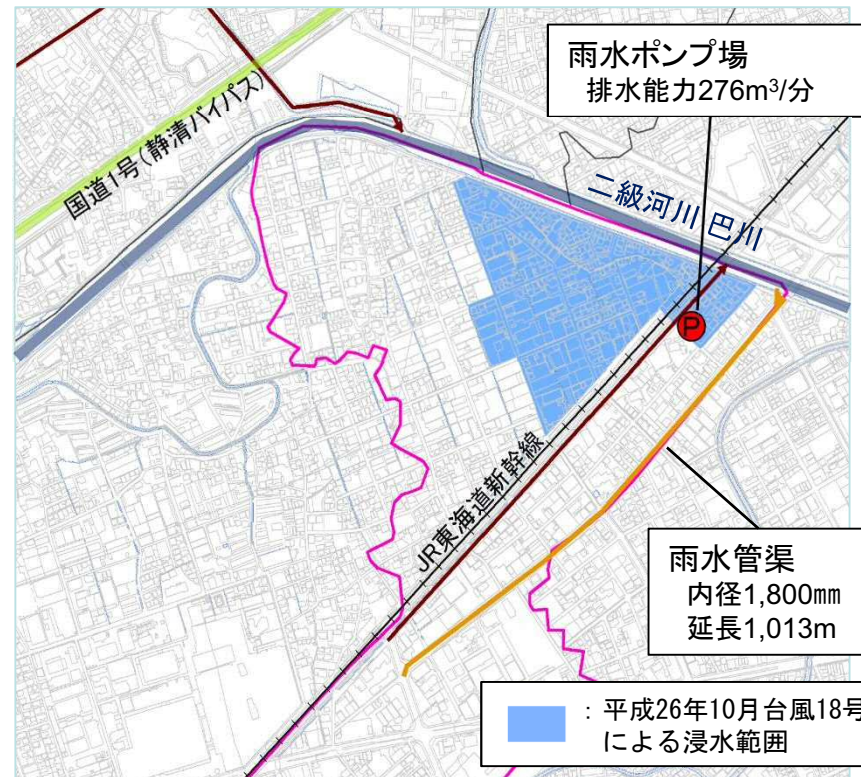
## 平成26年10月台風18号 による被害状況



床上浸水:46戸、床下浸水:22戸

## 事業概要

- 事業内容 : 雨水管渠 内径1,800mm 延長1,013m  
雨水ポンプ場 排水能力276m<sup>3</sup>/分
- 全体事業費 : 約32億円 ※工事諸費等を含む
- 事業期間 : 平成28年度～令和7年度



## 事業の効果

### 浸水シミュレーションによる対策効果の検証【計画降雨67mm/hr】

